

園田東中だより

令和2年7月号
～ 夢一途 ～
地域の東中をめざして

誰もが行きたくなる学校づくり

品格教育 7月 月間目標

「 自主・自律 」

「自分」で考え、自覚をもち 「自分」を律(コントロール)しよう

- ・失敗をおそれず、自分から行動しましょう。
- ・色々な失敗経験から学び、成長しましょう。
- ・自分がどうしたいか？今どうすべきか？
しっかりと考えて、行動しましょう。
- ・いま本当に必要なことですか？
しっかりと考え、自分をコントロールしましょう。

～ 生活を見直し成績アップをめざせ ～

昨年度の市内ステップアップ調査の上位の人の生活について調べてみました。

今の自分の生活とどこが違うか考えて生活改善に努めましょう。

- ・スマホの使用時間を決めている。
- ・スマホの使用ルールを家で決めている。
- ・気分が安定している。
- ・テストの見直しを必ずやる。
- ・わかるまで努力する。
- ・授業に集中する。
- ・他者の意見を尊重する。
- ・自分に厳しい。
- ・苦手な教科を学習する。
- ・宿題をきっちりする。

特に平日の学習時間は変わりませんが、土日の学習時間に大きな差がありました。

「 いまやらねばいつできる わしがやらねばだれがやる 」

～ 平櫛田中先生に学ぶ ～

平櫛田中(ひらくし でんちゅう)彫刻家。

岡山県井原市で生誕。(1872年～1979年)107歳没。文化勲章受章(1962年)

東京芸大名誉教授(1965年) 井原市・福山市・小平市名誉市民

代表作品 鏡獅子(国立劇場)・五浦釣人(福山駅南口)他多数あり。

エピソード

百歳の祝賀パーティーであいさつに立ったとき、「どうか皆さん、あまり私のところを訪問しないで下さい。私はまだ制作したいし勉強もしたいので、ご厚意に甘えるならば、どうか仕事の邪魔をしないで下さい。」とユーモアを交えながら話した。

田中がアトリエが狭く大作を作る場所に困っていると、横山大観等が自分の作品を売りそれを資金にアトリエを建ててくれました。巨匠たちからの温かい贈り物でした。

東京芸大(前東京美術学校)より依頼され、師事していた岡倉天心の像を制作し校内の六角堂に安置した。田中は教授として学校に着くと毎朝、天心像の前で最敬礼していました。天心の死後も何十年経てもこの姿が見られ、1日として師の恩を忘れたことのない田中の姿がそこには見られました。

田中が6代目尾上菊五郎をモデルに66歳から86歳まで20年かけて制作した「鏡獅子」を国が2億円で買い上げると言ったとき「お金はいりません。この作品は私一人で作ったものではなく、6代目菊五郎さんと2人でこさえたもんです。」と言い東京近代美術館に寄贈し、美術館はこの作品を国立劇場に貸し展示することにしました。



(小平市平櫛田中彫刻美術館所蔵)

田中は、98歳でアトリエを新築して、100歳で30年分の材料を購入しました。いつまでも意欲を持ち、勉強と研究を続けました。

～ 7月 行事予定 ～

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 3日(金)進路・修学旅行説明会 | 6日(月)朝礼・専門員会 |
| 16日(木)～22日(水)教育相談 | 22日(水)尿検査 |
| 28日(火)～30日(木)期末考査 | |
| 8月8日(土)～17日(月)夏季休業 | 8月19日(水)～25日(火)個人懇談 |
| 9月11日(金)1学期終了。通知表配布 | 9月14日(月)2学期始業式 |

